

# 星屑

Vol. 255  
June '96



熊本県民天文台

# 平成8年度 熊本県民天文台総会報告

中島 尚

去る5月12日に行われた今年度の総会の報告を致します。

今年の総会には約40名の会員が出席しました。そこで、毎年恒例となっているように、今年も熊本大学天文研究会の高橋さんの司会で総会は始められました。今年は例年の部長ではなく、副部長の司会ということで、熊大天研の新しい息吹を感じました。

次に艶島台長の挨拶、来賓挨拶と順に進み、議長選出ということになりました。今年の議長には推薦により長谷さんが選出され、議事へと進みました。

最初の議案は、昨年度の活動報告と会計報告でした。添付の資料をご覧になると分かりますが、すいぶんとたくさんの事業をこなしてきています。特に、今年3月の百武彗星観測会では連日たくさんの来台者がおり、この間だけで1000人を越しました。さらに観測設備の充実もすすみ、観測専用ドームの建設・41Cm望遠鏡への13Cm反射鏡の同架などがあげられます。現在、小林壽郎さんを中心にどんどん観測に使われています。しかし、その一方で支出の方は非常に少なくなっており、すいぶんと辛抱していると評価されました。ただ、事務局が博物館から天文台に移り、名簿の管理や会費の納入状況の把握などが完全ではないことが指摘され、今年度の課題として解決策が示されました。

次に、今年度の役員選任に移りました。最初に艶島さんが台長に再選され、添付資

料のように今年度の役員が決まりました。運営委員が主体ですが、すいぶんと学生さんの数が増えているのが目に付きます。新しい運営委員も次第に増えてきていて、今後の活動が楽しみです。その後、平成8年度の活動計画と予算案が提案され承認を受けました。

最後は百武彗星の観測記録について小林壽郎さんから講演をしていただきました。たくさんの画像データを元にした報告は迫力があり、彗星観測の実際を垣間見る機会になりました。その後、宮本名譽台長から小惑星命名の経過について報告がありました。小惑星の名前の付け方の歴史的な由来から説き起した話は、なかなか興味深いものがありました。宮本さん、艶島さん、小林さんの3人の名前の付いた天体が太陽系を回っている様子を考えると、なにか不思議な気持ちになります。こうしてとどこおり無く終了した会でしたが、休憩の間にたくさんの写真が披露され、百武彗星にかけた情熱が伝わってきました。宮本さんの天文ガイドを飾った写真など、見応えのあるものばかりでした。一部はパネルにして天文台においてありますので興味のある方はどうぞ！また、ホームページ上でも公開していますのでそちらもご覧下さい。

最後に、現在天文台で使える機材を紹介しておきます。それうまく使えば、それなりの成果を上げができるものばかりです。是非活用して下さい。

- (1) 41Cm反射赤道儀一式（エンコーダー装備・デジタル表示可）
- (2) 13Cm反射鏡（高橋MT-130）41Cmに同架F4.9、カメラ取り付け可
- (3) 28Cmシュミカセ（C-11）+EM-100-式
- (4) 20Cmシュミカセ（C-8）+スーパーポラリス赤道儀一式
- (5) 31Cmドソニアン一式
- (6) カメラアダプター（拡大・直焦）各種、拡大用アイピース
- (7) 冷却CCDカメラ、コダックk f -400使用、12ビット
- (8) 白黒CCDカメラ、ビデオ撮影に使用
- (9) I・I（イメージインテンシファイヤー）超高感度暗視装置、流星や星座撮影など
- (10) ペンタックスカメラボディー（K X）+50mm、28mm、85mmレンズ
- (11) 双眼鏡多数（12.5Cm×25倍、8Cm、5Cm、3Cmなど）
- (12) 高橋NJP赤道儀、ε-200鏡筒
- (13) 小型望遠鏡多数（五藤Mark-X、高橋D型など）
- (14) ビデオプロジェクター、その他ビデオデッキなど完備
- (15) 写真暗室、引き伸ばし機一式
- (16) パソコン4台（BBS用、観測用、

#### 観測整理用、星図表示用）

その他にも個人の持ち物が多数あって、話によっては使用可能なものもあります。

これらの機材を使用するには、次の決まりがあります。

(1) 一人で使うには運営委員になることが必要です。つまり、運営委員は天文台の機材を自由に使えるということです。

(2) 運営委員以外の人が使いたいときには、運営委員と一緒に観測することが必要です。つまり、運営委員がいないときには使用はできないということです。

いずれにしても、みんなの施設ですので大切に扱って下さい。もし故障や破損した場合には速やかに中島のところまで連絡して下さい。次に使うときに使用できなければ観測に支障を来しますので。また、得られた観測結果等はホームページや星くずなどでどんどん発表して下さい。

## COMET PAGE

Porco Nisse

## ★ C/1996 B2 (Hyakutake)

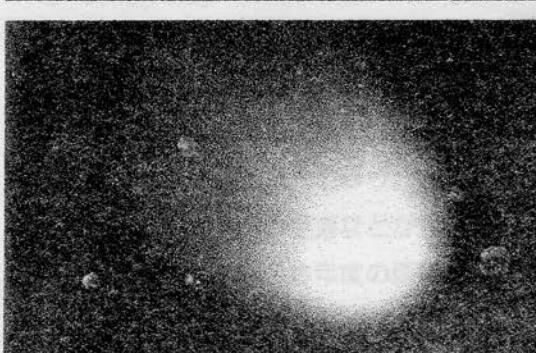
20世紀末大彗星シリーズ第一弾「百武彗星」はいかがでしたでしょうか?まさか見なかつたなんて言う人はいませんよね。今月も南半球へ行けばまだ見ることはできますから、お金と暇のある方は出かけてみてはいかがでしょう。さて、無駄話はともかく、今号もこの彗星の姿からです。まずは KCAO の主砲 41cm 反射直焦点において CCD カメラの画像集です。

C/1996 B2  
April 7, 199641cm F6L  
HPC-1/Telervis 400

C/1996 B2 (Hyakutake) Apr. 13, 1996



C/1996 B2 (Hyakutake) April 8, 1996 exp. 10sec. 41cmF5L

C/1996 B2 (Hyakutake)  
April 20, 1996 41cm F6L HPC-1/Telervis 400 30sec.

C/1996 B2 (Hyakutake) April 11, 1996 41cmF6L

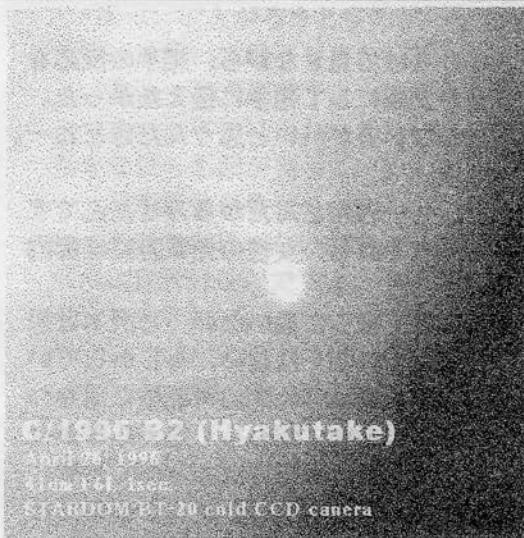
C/1996 B2 (Hyakutake)  
April 22, 1996 41cmF6L STARDUM 18-11C color CCD cold camera



C/1996 B2 (Hyakutake)  
April 23, 1996 41cm F6L 10sec.



C/1996 B3 (Hyakutake)  
April 24, 1996  
41cm F6L STARDOM BT-20 5sec



C/1996 B2 (Hyakutake)  
April 23, 1996  
41cm F6L 10sec.  
STARDOM BT-20 cold CCD camera



C/1996 O1 (Hale-Bopp) April 13, 1996  
41cm F6L f1:2,400mm exp.30sec.

天候の影響もあって KCAO では 4 月 26 日がこの彗星の最終観測となりました。5 月 1 日に彗星は太陽に最接近しますが、果たしてどんな姿を見せてくれるのでしょうか？南の観測者に期待しましょう。このごろは、INTERNET で地球の裏側のニュースも国内のニュースも同じように手に取れる時代なのですから。

さて、4 月の観測では彗星は予想よりやや暗い傾向を示していました。これが低空の影響であって実際は明るいのであれば良いのですが、マイナス等級は無理かなあとと思える状況でした。KCAO では 4 月下旬には 3 台の CCD カメラが主砲 41cm に装着されるなどして、多量の画像が得られていますが、スペース等の関係で全部紹介できないのが残念です。

#### ☆ C/1995 O1 (Hale-Bopp)

巨大彗星「ヘール・ボップ」が順調に明るくなっています。彗星との距離を表すのに AU (天文単位) が使われます。これは地球と太陽の軌道半径を 1 とするものです。これで示すと、金星は太陽から 0.7AU、火星は 1.5AU、木星は 5.2AU の半径の軌道を巡っていることになります。

さて、左の画像を撮影したときに彗星は、太陽から 4.7AU の所にいました。この距離は火星より遙かに遠く、木星の軌道の内側にやっと入ったところといえるのです。偶然ですが、このとき地球からも 4.7AU の所でした。この距離で彗星の光度は 8 等級です。噂どおりの巨大彗星であることがわかりますね。夏休み以降はこの彗星の話題で持ちきりになることでしょう。

## 天文台小説

「シリウスより輝け！」

第5回 そうはとんやがおろさない  
安部 真理子

その日、空は雲一つ無く緩やかな風が吹く心地よい日差しの中、2人は学食のチョコレートパフェを食べていた。

「おいしいですか？」

「ええとっても。」

沢木は自分の持ってきたミステリーソードをひろげて見せながら、相手の反応をうかがった。言葉では言えない気持ちを何とか文章にして相手に伝えたかった。

「自分にすら守れない秘密は他人には言わない方がいいと思うんだけどねー。ま、いいんだけどね。」

「いわながさん。やめてくださいよー。もー岩永さんだからみせたんですよ。そんなふうに突き放さないでください。くれぐれも、女性の先輩方には御内密に……。」

しかし、奴等はきっとハイエナの様にかぎつけて来るに違いない、と沢木は思った。何しろこの間はいい感じだったのに、邪魔されたくない。もしかしていけるかも・・・大学生になってやっとめぐって来た初めての恋の可能性に落ちつきを無くしそうな自分をクールに見ている岩永がこんなに頼もしく思えた事が今まであったろうか、いやなかった。さすが運営員をしてるだけはあるな、とすこし尊敬してみたりした。そう、天文台のお客さんに手を出した事になるのだろうか、という後ろめたさも無くはなかった。が、会えない事のこれほどの辛さ、これは本物だという信念が戸惑いを消した。責任さえ伴えば僕は自由なのだ。そうだ、沢木がんばれ、空も味方してるぜ。GO！

白石ひとみが最後に天文台を訪れてから、早くも二週間が過ぎようとしていた。

動機は、思いっきり不純であったが、斯くして沢木の天文台運営員としての修行が始まった。必死で星座を覚えた。しばらくすると望遠鏡の操作も覚えて自信もついてきた。そんな沢木を不信に思いながらもあたたかく見守る部員たち。最近、不穏な空気の流れがちな天文研究会にも微笑しさを与えていた。

はたして、三月のある夜、ひとみは三人の子供をつれてやってきた。いい感じに星の名前など教えはじめた沢木を残し岩永は子供たちとともに階下におりていった。星に興味のあるひとみはうなずきながらしっかりと聞いてくれているようだった。なにか話題を、と思った。

「白石先生って呼ばれているんですね。僕なんかまだ学生ですからなんか僕よりしっかりされてるんだなあ、て思っちゃいますよ。あ、僕のこと沢木君って呼んでください。年も違わないし。」

さり気なくしっかりといえた。最近、運営のせいで人慣れしているのが幸いした。ひとみは、少し微笑んだようだった。そんな2人を、星だけが見ていた。

と、その頃どやどやと、他の天文部員達が十時過ぎの天文台を目指して訪れてきていた。恐るべし女子部員たちである。

「いやー。きょーは良く晴れているよねー、思わずきてしまったよ。なーんてね。そろそろ写真どんないとね。」

いつもめったに来ないくせにどうして今日に限って来るんだよ、岩永は空しくなった。天文台係の河田が言った。

「上、誰か居ると？ 今日もう終わり？」

一息ついて上がるとする彼らを止める術はなかった。1人早速見に行った河田は焦って驚いて帰ってきた。彼女らは盛り上がりはじめた。

「ちょっと大変ですよー。なんかいい感じなんですよ。」

「えーなになにそれ。どういうこと？ えっ沢木君？」

驚きながらも顔が笑っている。調子にのってきた安部がいった。

「沢木君もやるねー。」

「そんなんじゃないですよ。安部さん。かってに詮索するのはやめてください。沢木は真面目な奴ですよ。トークアバウトを英会話教室と勘違いしていた人とちがってですね。」

岩永は、こんな連中にも、子供にも、おじさんにも恐れをしらなかった。

「別に、沢木君に何の興味もないし関係ないもんねー。けど単に面白いだけ。いーな、いーな、沢木君の春だね。」

言いながら安部は上にいる人はどんな人だろうか、と思った。何で、こんなに気になるの？ と、さらに意識している自分にきづいた。一度思うともう止まらなかつた。私の胸はいたい、そう心で唱えた。そんな馬鹿な・・・5歳も年下の男の子に・・・

その頃、望遠鏡のそばで、ひとみは沢木のほうを振り向いていった。

「あなたに、こんなことをいうのは突然だけど聞いてほしいことがあるの。」

to be continued... これって恋・・・?

梅雨ですね。梅雨に入ってしまいました。あー、雨が降る。天文台は休み。頭の中はカビだらけ。（アイピースやカメラのレンズもカビに注意しませう）カビといえばいろんな場所に生えますが、食べ物に生えると食中毒になります。レンズに生えると綺麗な模様が・・・、コノヤロー。菌といえば、この間、椎茸が生えてくるという木を買ったら、本当に生えてくるんですねー。椎茸嫌いな人は御免なさい。私はキノコ類は大好きでして・・・。これがまた美味しい。何でも新鮮な物は美味しいです。梅雨は椎茸栽培で楽しみませう。

## ☆ 6月の天文現象＆行事 ☆

- 2日（土） 満月（05：47）
- 4日（火） 月の距離が最近（361488Km）
- 8日（土） 下弦（20：05） トークアバウト（20：00～）
- 10日（月） 水星が西方最大離角（ $23^{\circ}42'.5$  光度+0.6等 視直径 $8''.2$ ）
- 11日（火） 入梅（00：09） 金星が内合（01：54）
- 16日（日） 新月（10：36）
- 19日（水） 月の距離が最近（406039Km）
- 21日（金） 夏至（11：24）
- 23日（日） 金星と水星が最接近（15：07  $01^{\circ}31'.4$ ）
- 24日（月） 上弦（14：23）
- 27日（木） 月と金星が最接近（14：56  $4^{\circ}36'.3$ ）
- 29日（土） 火星と金星が最接近（02：38  $4^{\circ}02'.1$ ）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1996年 6月号 通巻255号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

記事やメールはこちらへ Nif CXN00455 Int tommy@interserve.or.jp